

## 理事長あいさつ

### 新しいモデルの高専の構築に向けて

独立行政法人 国立高等専門学校機構 理事長  
工学博士 河野 伊一郎

国立高等専門学校は、平成16年の法人化から3年を経過しました。この間、55校が一つの法人としてまとまったことによるスケールメリットを生かし、国立高専の使命をより高く果たすため国立高専一丸となって、さまざまな取り組みを行ってきました。FD活動は言うまでもなく、「高専間教員交流制度」、「在外研究員制度」、「学習到達度試験」等、高専教育の充実のための新たな取り組みも実施してきました。

しかし、現在、高等専門学校は制度創設後40年以上を経過し、社会からの要請も変化しており、また15歳人口の減少や若者の理工系離れ、また厳しい行財政事情等の逆風もあり、高専を取り巻く環境は極めて厳しいものがあると言わねばなりません。

このような状況下において、国立高専としては、若者の意識と地域や産業界のニーズを踏まえながら、各高専内はもちろんのこと、各高専間の教育研究等の連携と地域や産業界との緊密な連携による先進的な教育システムの開発等により教育力の向上を図り、社会に支援される高等教育機関として一層発展していく必要があると考えております。

また、現在、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会の大学分科会の下に高等専門学校特別委員会が設置され、高等専門学校の振興策に関する審議が行われているところです。中央教育審議会において高等専門学校に関する議論が行われるのは平成3年以来16年振りのことと聞いております。

この中央教育審議会における議論の状況をも踏まえながら、今後の産業・社会のニーズに対応する創造性を持った人材の育成を推進するため、国立高等専門学校の再編整備の在り方について検討を進めて参りました。

今後の産業・社会ニーズに対応するため、現在の教育研究資源を結集することにより、①教育の質の向上、②地域ニーズへの適確な対応と強化等を目的として、複数キャンパス型の新しいモデルとなる高専を設置するために、構想の具体的な検討に取り組みます。

つきましては、この度、去る8月31日に新モデルの高専創設について今後4地区において検討に着手することを内容とする記者発表を行いました。

社会経済環境の変化を踏まえ、科学技術立国の一翼を担う高専として、社会や地域のニーズに対応した教育研究活動を強化し、教育の質の一層の向上や地域連携の強化を図っていくための整備の在り方について検討を進めるとともに、地元との連携を更に深め、個性を持った魅力ある新しいモデルの高専の創設を目指していきたいと思



## 九州沖縄地区における シンガポールのポリテクとの国際交流

熊本電波工業高等専門学校 校長 江端 正直  
教授 松本 勉

### 1 まえがき

今日のようにグローバル化の進んでいる時代においては、国際交流の効用は極めて広い範囲に及んでいます。特に、学生のような若者に対するインパクトは計り知れないものがあります。熊本電波高専では、2003年よりシンガポールのテマセクポリテクに学生を研修旅行に送り込んでいますが、たった1週間で、これだけ学生の意識が変わるものと驚かされます。そ

の後も学生の交流のみならず、近年では教員の交流にも及び、2006年には遂に九州沖縄地区の10高専とシンガポールの3ポリテクとの間に包括的交流協定が締結されました。調印式は高専機構の河野理事長にも出席を仰ぎ、盛大に行われました。この協定に基づいて、2007年にはいろいろなイベントが計画されていますが、中でも9月に行われた国際工学教育研究集会是、教育手法に関する本格的なシンポジウムとなりました。

協定の相手としてシンガポールのポリテクを選んだ理由は数々あります。まず、第一に治安が良いということが挙げられます。また、旅費についても国内旅行とあまり変わらないという点も大きなメリットです。この他にも教育先進国であるとか、英語が通用している国であるといったことも挙げられますが、この国際交流は、まだ、緒に就いたばかりであり、今後の更なる発展が期待されています。

### 2 交流協定締結の経緯

熊本電波高専では海外研修旅行開始後、学生の交流だけではなく教員派遣など国際交流活動の活性化を図ってきています。この経験に基づき、九州沖縄地区10高専の国際交流の活性化と教育先進国であるシンガポールにおける工学教育事情視察を目的と



図1. ポリテク校校長、河野理事長らの署名風景

として、2005年11月に「シンガポールにおける工学教育視察」を実施しました。視察チームは、シンガポールにある5校全てのポリテクを訪問し、施設・設備の視察のみならず、各校のスタッフとインターンシップや産学連携教育、PBL利用教育、さらに今後の国際交流などについて意見交換を行いました。この視察の結果を踏まえ、2006年8月に九州・沖縄地区高専とシンガポールの3ポリテク校との包括的交流協定締結の調印式が行われました。写真は調印式の1コマです。